コロナ禍明け、国内旅行の本格回復目指す

関西支部連合会
新たな取り組み継続

金子博美会長

平素より、関西支部連合会の活動に対しまして、日本旅行社員の皆さま、会員の皆さまにおかれましては、多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

まずもって、元日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々に、謹んでお悔やみ申し上げます。被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

2023年度は、3年間にわたり翻弄されたコロナ禍に終止符を打つことができ、特に5類になった5月連休明けからは、インバウンドのお客さまがけん引し、関西も、京都・大阪を中心ににぎわいを取り戻しました。懸案であった団体旅行も、リアルのコミュニケーションを取り戻すべく、徐々に戻りつつあります。

一方、世界に目を向けると、ウクライナ侵攻は収まる気配がなく、新たにパレスチナでも紛争が発生し、われわれの業界の平和と安寧は落ち着く様相を見せません。

物価の高騰は、消費者の購買、消費意欲を削ぎますし、われわれの足元においても、人材不足や燃料・原価の高騰に頭を悩ませます。そのような環境に負けず、日本旅行、日旅連の会員は知恵と工夫を絞り、お客さまにご満足いただける安定したサービス提供に全力を挙げて取り組んでいただいております。その努力に改めて敬意を表します。

昨年11月に、日本旅行の事業で欧州（スペイン）で行われた商談会に参加致しました。スペインの人々は、日本に非常に興味や関心を持たれていましたし、街では観光客も生活者もショッピングやお食事、お酒、そして会話を楽しんでおられ、すっかりにぎわいが取り戻されていることを目の当たりにしました。

さらにスペインには欧米を中心に観光客がたくさん来られていましたが、観光地では受け入れ体制が整備されていました。例えば教会等の入場、WEBで事前決済での入場管理がされ、待ち時間はほとんどなく、アルハンブラ宮殿では、日本から事前申し込み、抽選制になっており、オーバーツーリズムにならない配慮をされていました。

昨年スポーツ界では、MLBの大谷翔平さんやバスケットの渡辺、八村選手、サッカー代表のほとんどの選手が欧米で活躍され、とりわけ女子ゴルフの若い選手がアメリカを主戦場に挑戦する姿は、素晴らしく明るい前向きになれるニュースでした。日本のプロ野球の阪神、オリックスの優勝は関西に活気を一気に取り戻す明るいニュースになりましたし、今年はパリオリンピックが開催されます。さらなる活躍を期待しています。

このような追い風を旅行業、観光業にもつなげていきたいと思います。インバウンドも一部の地域にとどまらず、広域に誘導できるような連携をしていくことが肝要です。

また、2025年大阪・関西万博には、全国発JR大阪デスティネーションキャンペーンが展開され、京都・大阪・神戸を中心に新しいホテルが建ち、うめきたエリアのインフラ整備の工事は着々と進んでいます。3月16日には北陸新幹線が敦賀まで延伸され、新しい需要創造のできる機会が増えます。

連合会では昨年、連合会主催の商談会を初めて開催し、提携販売への施策、若年担当者への旅館ホテルの提案勉強会、人材不足に対する情報提供など新しい取り組みを行いました。今年も事業を継続し、さらに日本旅行社員とのセッションを増やす計画や人材の確保の機会を増やす計画をしています。

また、北陸と関西は昔から交流が盛んです。北陸3県と連携し、北陸の一日も早い復旧、復興を支援しつつオール北陸・関西で取り組みができればと考えています。

日本旅行、日旅連会員の皆さま、さらに前向きに、将来に向けて持続可能な事業を行い、お互いが高められるよう取り組んでまいりましょう。

昨年は以前に近い規模で、全国中学校体育大会やよさこい祭り、阿波踊りなどのイベントが予定通り開催されました。また、四国全体では、弘法大師生誕1250年祭、瀬戸大橋開通35周年など、節目を迎えた年でもあり、高知県では、植物学者・牧野富太郎博士をモデルとしたテレビドラマもあり、復活の兆しが見え始めた1年となりました。

当連合会の事業では、9月にNic四国支部の皆さまと従業員様のエンゲージメント向上、接客の高付加価値化を目的にグリーター・グリーティング研修も行いました。

今年は、四国の玄関口であるJR高松駅ビルのリニューアルオープン、四国の代表的な観光名所「道後温泉本館」が約5年間の工事が終わり、7月に全館営業再開となります。

また、インバウンド需要では、四国4空港で本格的に国際線の就航が開始されます。

また、世界的旅行誌「ロンリープラネット」で「22年訪れるべき旅行先」の地域部門で四国が世界6位に選出されたことにより、国内外の多くの旅行者の皆さまから選ばれる地域となるために、引き続き、当連合会がけん引役となって、地域行政やNic四国支部、観光DMOなどと連携し、来訪いただく皆さまに安心して楽しんでいただける地域を目指してまいりたいと思います。

2025年には、大阪万博・瀬戸内国際芸術祭を控え、受け入れ態勢の強化も図っていきたいと思います。オール四国として、皆さまと共に新しい時代を作ってまいりましょう。

末筆になりますが、本年も日本旅行関係各所の皆さまからのご支援を賜りながら、地域誘客と宿泊券増売に努めてまいりますので、会員の皆さまのご協力を何とぞお願い申し上げます。

四国支部連合会
選ばれる地域目指す

大木勝也会長

本年元日に発生しました「令和6年石川能登地震」、2日に発生しました「羽田空港　日本航空機と海上保安庁機の衝突事故」により、おお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

日頃より、四国支部連合会の事業に際し、会員の皆さま、日本旅行グループの皆さまには多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

約3年にも及ぶ新型コロナもゴールデンウイーク明けより5類に移行し、個人需要の回復、渡航緩和によるインバウンド需要の回復が見られましたが、皆さまにおかれましては、慢性的な人材不足等により、ご苦労を重ねていることとお察し申し上げます。

九州支部連合会
効率的な攻めの営業

伊藤博太会長

まず初めに、元日に発生しました能登半島地震で被災されました皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興を九州支部連合会会員一同、心より願っております。

さて、平素は日旅連九州支部連合会の活動につきまして、日本旅行グループの皆さま並びに会員の皆さまには多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。連合会長就任2年目を迎え、日旅連の目的である「会員への誘客拡大」が果たせますようさらに努めてまいりますので本年度もよろしくお願い申し上げます。

九州支部連合会の本年度の事業計画ですが、引き続き日本旅行中期経営計画「覚醒」（2022年～2025年）にリンクさせ、日本旅行各部門、Nic九州、九州日修会と連携させていただきながら以下の取り組みを中心に事業を進めてまいります。

一つ目は、「宿泊券増売を目指した事業活動」で主なものは以下の内容です。

①4月～6月開催の「福岡・大分　JRデスティネーションキャンペーン」をフックとした着地型企画商品（個人・団体）造成へ協力。

②JR「EXサービス」プラットフォーム活用での新商品への参加の推進です。昨年の10月にスタートした「EX旅パック」は既に多くのお客さまにご利用いただいており、日旅連会員にとっても販路拡大の絶好のチャンスと捉え、引き続き商品への参加を推進してまいります。

③「おとなび・ジパング倶楽部」への協力推進です。九州として昨年スタートしました「おとなびジパング倶楽部」との営業推進会議を通じ、九州の魅力を引き続き共有させていただき送客拡大に協力してまいります。

④団体旅行拡大への協力。日旅連・Nic協働で設定の「九州セブン&アイランド」を活用した九州企画・仕入施策の「団体送客キャンペーン」への協力を継続します。

二つ目は、販売促進活動の推進です。「国内誘客事業」「訪日誘客事業」に分け、本部事業と連動しつつ、九州独自の事業も引き続き取り組んでまいります。

まず「国内誘客事業」としましては主なものは以下の通りです。

①「九州各県別WEB専用ページ」の有効活用。九州国内旅行事業部に協力いただき、昨年着地戦略用に開設した各県別WEB専用ページの活用の推進です。QRコードの設定と活用を図り、ユーザーの目に留まるための工夫を推進してまいります。

②「九州広域営業部社員との商談会または現地研修」の開催へ取り組みます。九州広域営業部に協力いただき若手営業マンを中心に九州各地の魅力を共有し、九州域内からの送客拡大を目指します。

③日本旅行グループに向けた誘客宣伝隊の実施。営業推進委員会を中心に重点地域を定め、九州誘客宣伝隊により営業の最前線の皆さまと最新情報の共有を図ります。

④九州域内店頭キャンペーンの実施。本年度より日本旅行直営支店となられた旧日本旅行リテイリング店舗への支援を含め、店頭イベントを実施し、優良リアル顧客の拡大へ取り組みます。

次に「訪日誘客事業」です。昨年は本部事業の台湾・高雄商談会に連動し、九州独自での台北市内商談会を翌日に開催し、商談AGTからの誘客効果を上げることができました。既に拡大してきました訪日客への日本旅行各事業に対して引き続き協力させていただきます。

三つ目は、「第32回RENCUP　in九州」の開催です。本年度から参加対象範囲が拡大されました。実行委員会を中心に素晴らしい大会になりますよう努めてまいりますので多くの皆さまのご参加をお待ち致しております。

開催日…2024年9月18日（水）▽開催場所…【ゴルフ】芥屋ゴルフ倶楽部（福岡県糸島市志摩芥屋1の1）、【表彰式】ホテルニューオータニ博多▽参加対象…今回から日旅連会員に加えNiC・運輸機関会員（枠制限あり）へ拡大予定。

以上が事業計画の中心であります。営業推進委員会を中心に地域連携のさらなる強化を図りつつ「効率的な攻めの営業」を目指して取り組んでまいります。日本旅行グループ並びに日旅連会員の皆さま方の一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

沖縄支部連合会
「ならでは」の素材で

親盛一功会長

平素は、日旅連沖縄支部連合会の活動に対し、皆さまから多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

2023年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、おきなわ彩発見キャンペーンNEXT（全国旅行支援）の延長、FIBAバスケットボールワールドカップを含む各種イベントの実施、海外路線の再開等もあり、沖縄観光の本格的な回復が見えてきた年になりました。また、沖縄観光入域者数も、823万人（前年比44%増）を見込んでおり、人泊数および観光消費額も増加傾向にあります。

さて、2024年の見通しは、コロナ禍以前の生活に戻り、国際路線（航空便・クルーズ船）の再開に伴うインバウンドの増加を含む観光需要が大きく増加して、観光復活の年になることと想定しています。

また、課題もあります。観光需要回復に向かう一方で、観光業の人手不足が深刻さを増しています。官民連携した解決の取り組みが早急に必要と考えます。

3月には、株式会社日本旅行様の優良箇所および社員の皆さまを表彰する「日本旅行社長表彰・祝賀会」が、昨年に引き続き沖縄で開催されるということで今から楽しみにお待ちしています。

当連合会の取り組みとしては、ソリューション事業部門として、MICE・一般団体については、沖縄ならではの素材を利用した団体・MICE向け新素材の強化に取り組んでいます。

教育旅行団体の獲得拡大に向けてSDGsや探求型素材開発にも取り組んでまいります。

昨年は日旅連本部営業推進委員会での取り組みで①サンゴの保全②アースクリーンのプログラム開発―等の沖縄ならではのテーマに取り組みました。

また、若手社員を中心とした現地研修等の招聘・事業にも力を注いでまいります。

昨年10月に「沖縄プロジェクト」の一環で通常の視察ではなく、地元自治体の課題解決や活性化、誘致活動を学ぶ「ATK1788」を意識した研修も実施しました。

ツーリズム事業部門においては、商品造成と仕入部門の一体化運営による着地誘客の拡充。「赤い風船」商品を中心にインターネット商品のさらなる強化。高付加価値商品、サスティナブルツアーにも力を注ぎ販売成果貢献に努めます。

さまざまな取り組みで今まで以上に株式会社日本旅行様と連携し貢献できるように会員一同鋭意努めてまいります。何とぞよろしくお願い申し上げます。

山梨県石和温泉郷のリゾート旅館
華やぎの章 慶山
〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部 822
TEL：055-262-2161　FAX：055-262-4162
URL：https://keizan.com/

夜を旅するホテルへ　ようこそ
2023年10月 リブランディング！
特設サイトをご参照ください。
https://www.yorutabi.inasayama.co.jp/

ハーバービュープレミアムルーム

スイートルーム

館内バー
稲佐山観光ホテル　〒852-8008 長崎市曙町 40 番 23 号
TEL：095-861-4151　【予約直通】095-861-4155　【公式】HP https://www.inasayama.co.jp

世界遺産
「明治日本の産業革命遺産」

萩城下町

松下村塾

恵美須ヶ鼻造船所跡

萩反射炉
毛利三六万石の城下町、長州・萩。
萩城からほど近い、かつて城を守る
重臣たちが居を構えた萩城三の丸、
毛利屋敷跡に、北門屋敷はあります。
江戸時代からほとんど変わらない町割りと、
維新前夜の面影が色濃く残る場所。
武家屋敷の風格と凛とした空気に、
往時の息づかいが感じられます。
国の重要伝統的建造物群保存地区、
そして世界遺産「萩城下町・旧上級武家地」
であるこの場所に許された、唯一の旅館。
ようこそ北門屋敷へ。

当館表門前にも石碑がございます。
世界遺産「萩城下町」の宿
萩城三の丸 北門屋敷
〒758－0057 山口県萩市堀内 210-12
TEL0838－22－7521　FAX0838－25－8144
http://www.hokumon.co.jp

日光の社寺　世界遺産登録25周年

日光東照宮に一番近い宿
ホテル清晃苑
TEL:0288-53-5555FAX:0288-53-5554

旬の懐石と1ランク上のおもてなし
日光千姫物語
TEL:0288-54-1010/FAX:0288-54-0557

懐かしき大正ロマンの宿
ホテル春茂登
TEL:0288-54-1133/FAX:0288-53-3509

仙台伊達公別邸跡の宿
日光東観荘
TEL:0288-54-0611/FAX:0288-53-3914

春茂登ホテルグループ　http://www.hotel-harumoto.com/hhg/